

「EQUIOSNET」を具現化するソリューションを展開 ～ 「EQUIOS-Pre4m Jet520 Link」によりユニバーサルワークフローをさらに推進～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、2010年5月18日(火)から25日(火)まで英国・バーミンガムで開催される国際印刷機材展「IPEX2010」において、「EQUIOSNET」コンセプトを具現化させるソリューションとして、CTPとPOD(プリント・オン・デマンド)をトータルでコントロールするユニバーサルワークフローをご紹介します。

近年、印刷業界では、従来の大量生産型の印刷からパーソナライズ印刷へとニーズが多様化し、特に商業印刷業界ではCTPに加えPODに対する期待が高まっています。当社は、このような業界のニーズにいち早く応えるため、ワークフローコンセプト「EQUIOSNET」の下、付加価値の創出、メディアミックス、環境保護をテーマに、印刷業界におけるさまざまなソリューションを提供しています。また、「EQUIOSNETパートナーシッププログラム」を提唱し、JDFを使った各印刷工程間の連携・自動化を推進しています。

従来CTPやPODなどのデバイスでは、それらの特長を生かすためにそれぞれに特化したワークフローが開発され、運用されてきました。しかし、商業印刷分野におけるショートラン印刷やオンデマンド印刷へのニーズが高まる中、同一事業者内における異なるワークフローの併用によるオペレーションの相違が問題になってきています。このような動向を受けて当社は、デバイスが異なる場合でも同一のオペレーション環境を実現するユニバーサルワークフローをご提案。「IPEX2010」の当社ブース(No.10/C290)をご紹介します。

このほか、同展示会場内の「Print Automation Pavilion」(No.7/E460)において、印刷工程の自動化を促進する上で重要となる、ベンダーの垣根を越えた自動連携“End to End Automation”の具体例をご紹介します。また、その実現に向け、ユニバーサルワークフローにも搭載されている「EQUIOS-Pre4m」の面付けモジュールを、「EQUIOS Frontage」として製品化し、MISやWeb2Printのベンダーに向けたライセンス提供を開始します。

当社は今後も、業態変革に対応するPODソリューションを商業印刷業界に提案し、印刷業界全体のさらなる発展に貢献していきます。



ユニバーサルワークフローの概要

☆ この画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

< 「IPEX2010」 でのご紹介事例 >

CTPワークフロー 「Trueflow SE Ver.7」

新しいジョブ管理システム「EQUIOS-Pre4m」により、面付けの効率化やJDFを使用した自動化の推進など、CTPワークフローとしての機能を充実させました。

Truepress Jet520連携ソリューション「EQUIOS-Pre4m Jet520 Link」

「Trueflow SE Ver.7」と「Truepress Jet520」の連携では、「EQUIOS-Pre4m」のGUIを使用し、「Truepress Jet520」に対する面付け作成、出力指示が可能。この機能を使用し、マニュアル、冊子、本などの制作における在庫レスを実現するオンデマンドブックソリューションをご提供します。

Truepress JetSXコントローラー 「EQUIOS」

「Trueflow SE Ver.7」からサポートされた「EQUIOS-Pre4m」と同様の操作性で、「Truepress JetSX」への指示が可能。オペレーターへの負担を軽減し、ミスの防止に貢献します。